

里山保全活動

里山の保全活動で、自然と人間が共生していくことの大切さを知る。また、立ち木をのこぎりで伐採する体験を通して、身近な自然とふれあうことができる活動です。

1. 準備物

自然の家にあるもの のこぎり（130本）
準備していただくもの 軍手、長袖、長ズボン、帽子
けがやへび、虫などから身を守るためです。また汚れてもいいもの（ジャージなど）が望ましい。

2. 場所と時間

自然の家 “研修室” 30分（里山保全の話）
自然の家 “ふれあいの森” 2.5～3時間（里山保全作業）

3. 費用

1人110円 ※野外炊事の際、薪代が1回分無料となります。

4. 指導について

自然の家の職員が指導します。

5. 方法・進め方

- ① 里山保全についての話を聞く。
- ② のこぎりを腰につけ、常緑樹の伐採をする。
- ③ 常緑樹を所定の場所まで運び出す。
- ④ 切り出した常緑樹の枝を払い、幹は30cm程度に切りそろえる。
- ⑤ 幹や枝を決められた場所へおく。
- ⑥ 振り返りをする。

6. その他

- ・マムシ 初夏から秋の活動には細心の注意が必要。雨が降った後などややぶなどに多いので注意。
 - ・ヤマビル じめじめした地面に多い。かまれてもさほど害はないが、傷口はかゆく、血が止まりにくい。虫除けスプレーを塗っておくとよい。
- ★活動後は、使用したのこぎりの清掃にご協力下さい。



常緑樹が群生しているため、地面に日があたらない。



常緑樹を伐採した後。



林内に日がさしこみ、たくさんの植物が生える森に変わります。